

侵入防止柵の補強によるイノシシ被害低減

【企画振興部門（鳥獣被害防止対策担当）】

西田 剛、○神余暢一

1 課題を取り上げた理由

個人や集落においてイノシシ等の侵入防止柵が設置されているが、十分に侵入を防止して被害を抑制している地域ばかりではない。

このため、侵入防止柵周辺のイノシシ出没状況等を確認し、侵入防止柵の改善・補強によるイノシシ被害低減を図る。

2 既往の成果

なし。

3 当該年度の調査・研究計画

- 1) 設置場所 三豊市高瀬町、山本町
- 2) 調査方法 センサーカメラのデータ収集
- 3) 調査期間 令和5年4月～令和6年3月
- 4) 調査項目 獣類の侵入防止柵周辺の出没状況、通過状況

4 結果及び考察

令和5年4月から高瀬町で道路横の侵入防止柵の獣道付近にセンサーカメラを設置して獣類の出没状況を調査したが出没が見られなかったため、山本町のカンキツ園に設置場所を変更して出没状況を確認した。

カンキツ園の竹林際の斜面に設置された侵入防止柵で、地際部分の土が掘り返されて獣道となっていたため、令和6年1月24日に付近にセンサーカメラを設置して獣類の出没状況（侵入防止柵の通過等）を確認した。

3月4日、侵入防止柵の掘り返し場所に竹と針金を用いて補修し、その後の獣類の侵入防止効果を調査した。

補修の材料は、農家所有の竹林から伐採した竹1本（太さ10cm、長さ5m）、ステンレス製の針金（長さ6～7m、太さ1.1mm）を使用した。

補修後は、侵入防止柵の周辺に獣類が出没していることを確認したが、通過することはありませんでした（表1）。

補修に掛かった経費は針金代の約100～150円、補修時間は2名で30分弱であった（表2）。

5 農業者への波及

侵入防止柵の竹と針金による補強は効果が認められ、経費や補修時間も少ないため、生産者に情報提供する。

6 具体的データ



写真1 柵の補修に使用した道具類

表1 獣類の出没・通過状況

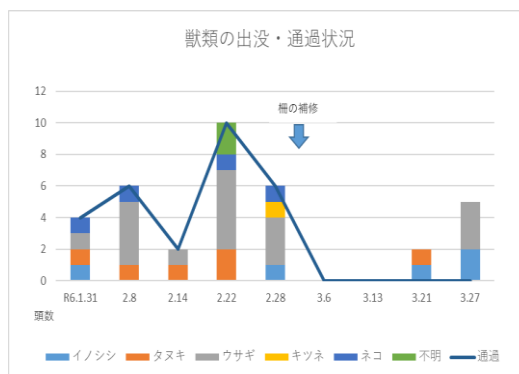


表2 侵入防止柵の補修作業に必要な資材・経費

作業日	作業人数	作業時間	作業内容	必要経費
令和6年 3月4日	2人	0.5時間	- 竹の切出し、枝打ち - 地面への竹の打ち込み - 侵入防止柵へ針金で竹を結束	竹1本：一 針金6～7m ：約100～150円

※ ステンレス製針金(太さ 1.1 mm × 長さ 110m = 1,480 円税込)



写真2 侵入防止柵の状況（補修前）



写真3 裾部分の掘り返し（補修前）



写真4 侵入防止柵の補修状況（補修後）



写真5 補修状況（カンキツ園側）

7 残された問題点

- ・ 侵入防止効果の継続性
- ・ 補修に使用した部材の耐久性の検討